

重要

令和2年4月8日

生徒・保護者 様

喜多方東高等学校長

教育活動の再開について

国や福島県からの指導を踏まえ、教育活動を再開します。

生徒が安心して教育活動を行うことができるよう、感染防止のために学校として出来る限りの対策を取りますので、ご家庭におきましてもご協力をお願いいたします。

1 「感染症対策」

(1) 基本的な感染症対策

①感染源を断つ

登校前に家庭において生徒の検温と発熱等の風邪症状の有無を確認してください。 発熱等の風邪症状がある場合は、登校せず自宅で休養してください。この場合は、欠席ではなく「出席停止」として扱います。

※登校前に確認できなかった生徒については、学校で教室に入る前に検温及び風邪症状を確認します。発熱等の風邪症状が認められた場合は早退させますので、自宅で休養してください。

②感染経路を断つ

手洗いや咳エチケット（マスク着用）を徹底して行ってください。

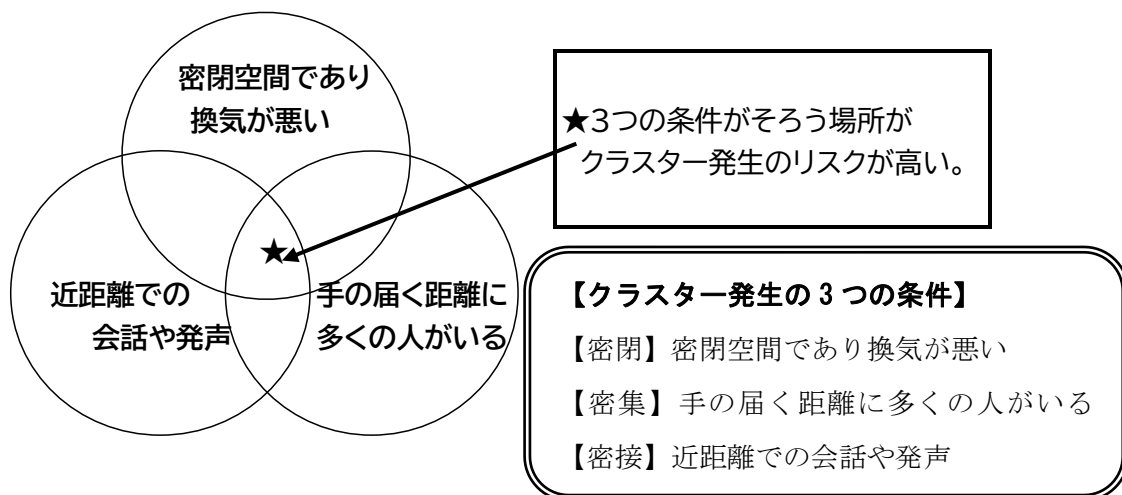
※教室やトイレなど、多くの生徒が手を触れる箇所（ドア、スイッチ、手すりなど）は、適宜、消毒液を使用して清掃を行います。

③抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけてください。

【クラスター（小規模な患者の集団）発生の防止】

感染拡大防止の対策としてクラスター発生を防止することが重要であることから、教育活動の中で次の①～③の条件が同時に重なる場면을徹底的に避けます。



(2) 次の症状がある場合は、「帰国者・接触者相談センター（会津保健所 0242-29-5203）」に相談してください。

- ①風邪の症状や 37.5 度以上の発熱が 4 日以上続いている。
- ②強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

2 「教育活動」

(1) 授業（教室）における感染症対策

- ①教育活動の中では近距離での会話や発声等が必要な場面が生じることから、飛沫を飛ばさないようマスク装着を徹底します。
- ②教室等のこまめな換気を実施します。

(2) 部活動における感染症対策

部活動の実施にあたっては、クラスター発生の 3 つの条件が重ならないよう、実施内容や方法を次のように工夫します。

- ・大人数の生徒が一度に集まり密集しないように活動内容を工夫する。
- ・屋内で活動する場合、こまめに換気する。
- ・少人数での活動となるよう、活動人数などの工夫をする。
- ・できるだけ短時間の活動となるよう、練習内容にメリハリをつけ、効果的に練習するなどの工夫をする。
- ・部室は、クラスターの発生条件となりやすいことから、使用を制限する。

(3) 学習活動について

一斉臨時休業に伴い、生徒が授業を十分に受けることができなかったことによって、学習に著しい遅れが生じることのないよう、生徒一人一人の状況に応じて丁寧に指導します。また、課された家庭学習の取組状況を把握し、必要な措置も講じます。

(4) 心のケア等に関すること

学校再開後も、生徒の中には、不安や恐れを抱くなど、心理的なストレスを抱えることが考えられます。学級担任や養護教諭、スクールカウンセラーなどによるきめ細かな健康観察と教育相談等から、生徒の状況を的確に把握し支援します。

3 その他

- ①マスクは、国内外において急激に需要が増加しており、依然としてその不足が解消していません。手作りマスクの使用を推奨します。
- ②今後の新型コロナウイルス感染の発生状況（発生地域、人数、感染経路等）や国の動向等によって、対応が変わることがあります。連絡メール「39 メール」や学校ウェブサイトでお知らせします。

喜多方東高等学校 電話 0241-22-2161